

自然災害に対する防災と減災

清新北ハイツ防災会

◆自然災害

- ・地震と津波

- ・火山爆発

 - 溶岩と火山灰

 - 火砕流と土石流

- ・気象災害

 - 台風

 - 豪雨

 - 竜巻

自然災害の発生は避けられない。自然災害により発生する被災を最小限にする準備、予防対策を行なう。（防災と減災）

◆事前の対策

- 対策により被害を最小限出来る。
- 対策により防災用品の量が減る。
- 対策により復興、復旧が早まる。

被害が少なければそれだけ早く元の生活に戻ることが出来る。

阪神・淡路大震災 神戸市灘区



阪神淡路大震災 神戸市ポートアイランド



阪神・淡路大震災 神戸市兵庫区



阪神・淡路大震災 阪神高速道路



阪神・淡路大震災 東急ハンズ三宮店東側



東日本大震災 大津波



東日本大震災 大津波



東日本大震災 住宅火災



東日本大震災 常磐自動車道



Response.jp

東日本大震災 打ち上がったフェリー「はまゆり」



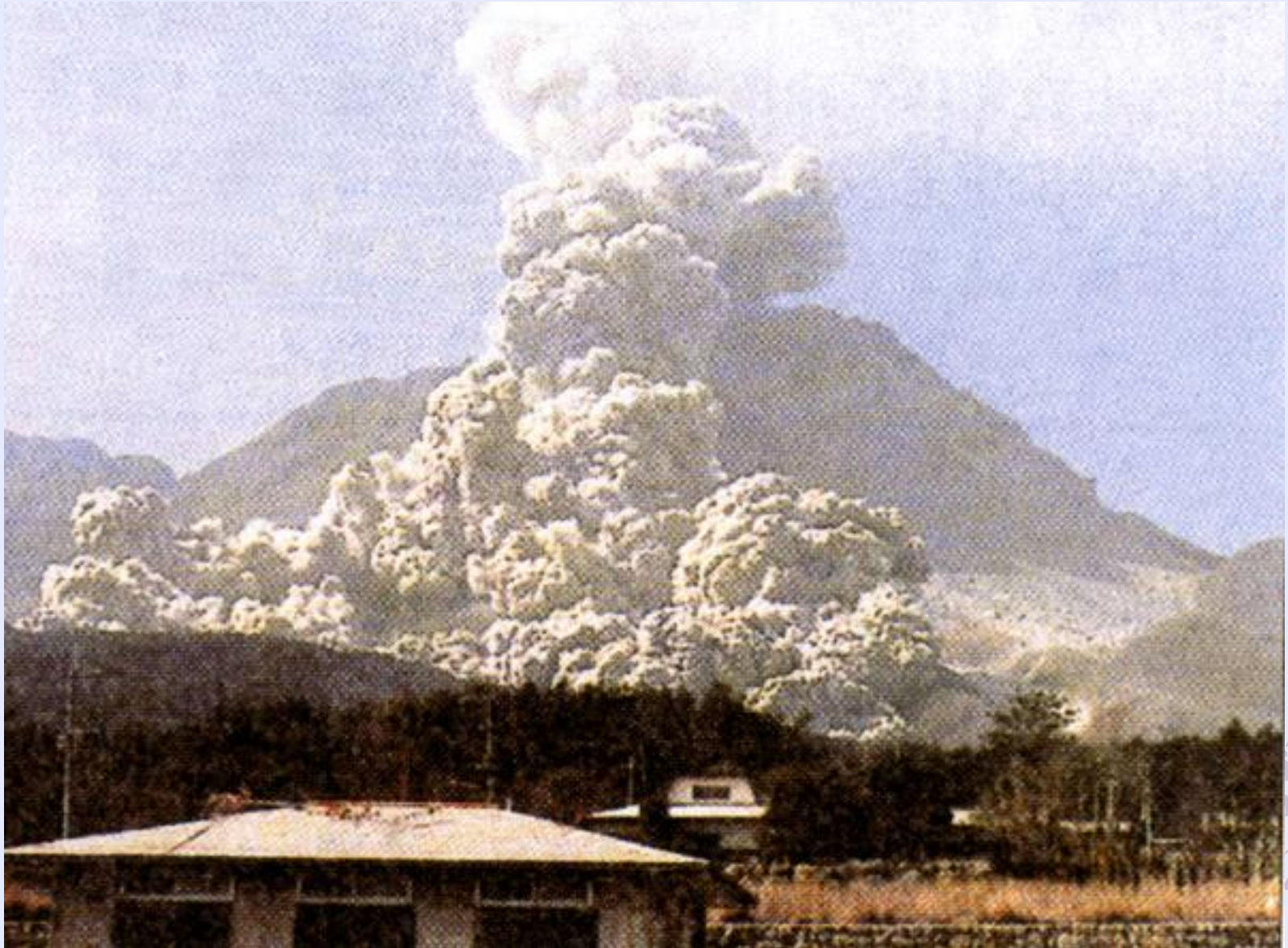
東日本大震災 仙台空港



東日本大震災 福島第一原発



雲仙普賢岳 溶岩ドーム爆発



雲仙普賢岳 火山灰をかぶった普賢岳神社



雲仙普賢岳 火砕流発生



雲仙普賢岳 土石流に家屋が埋まる



桜島 南岳山頂火口噴火



つくば市 竜巻発生



つくば市 竜巻による電柱倒壊



ゲリラ豪雨



ゲリラ豪雨



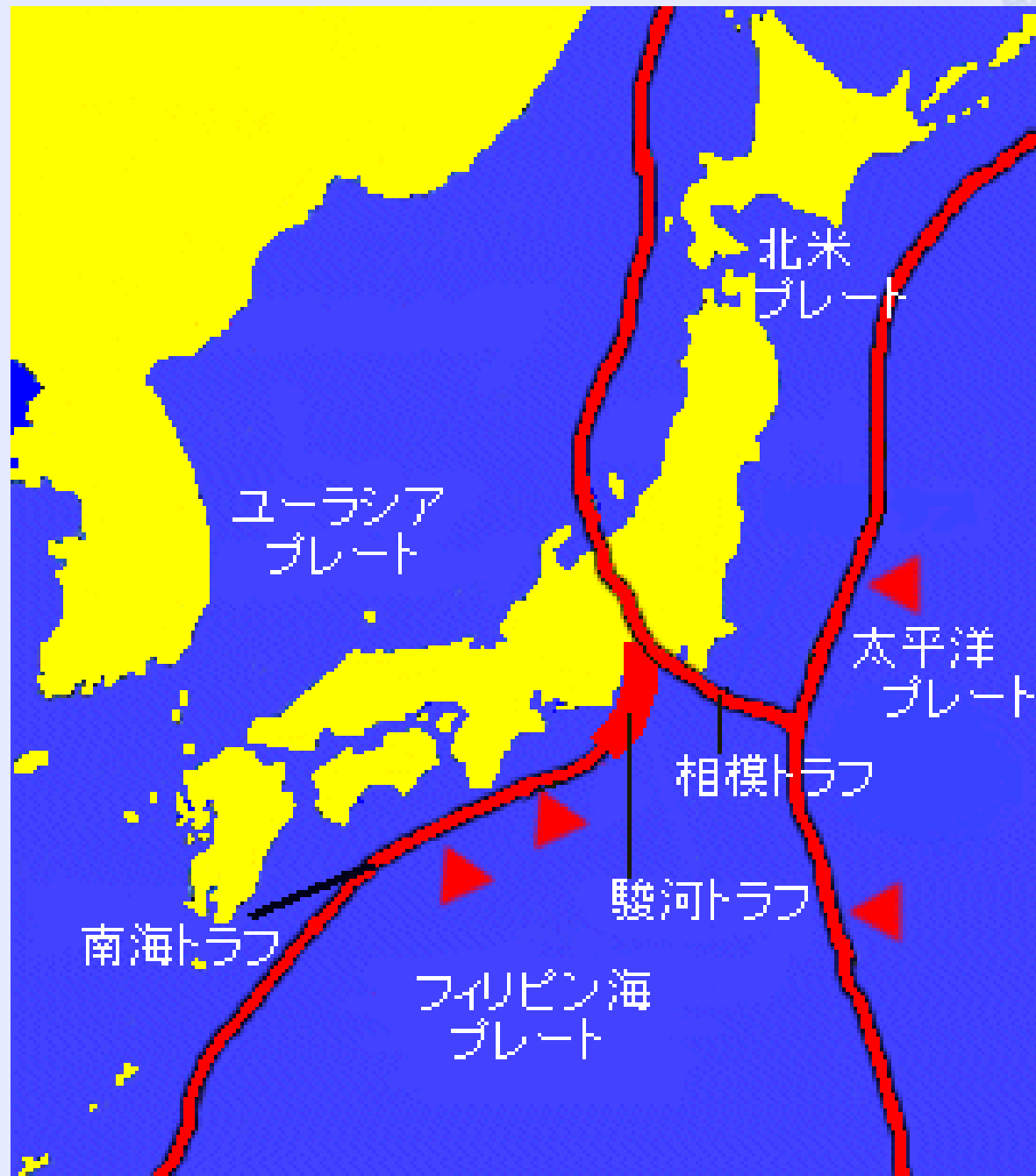
ゲリラ豪雨



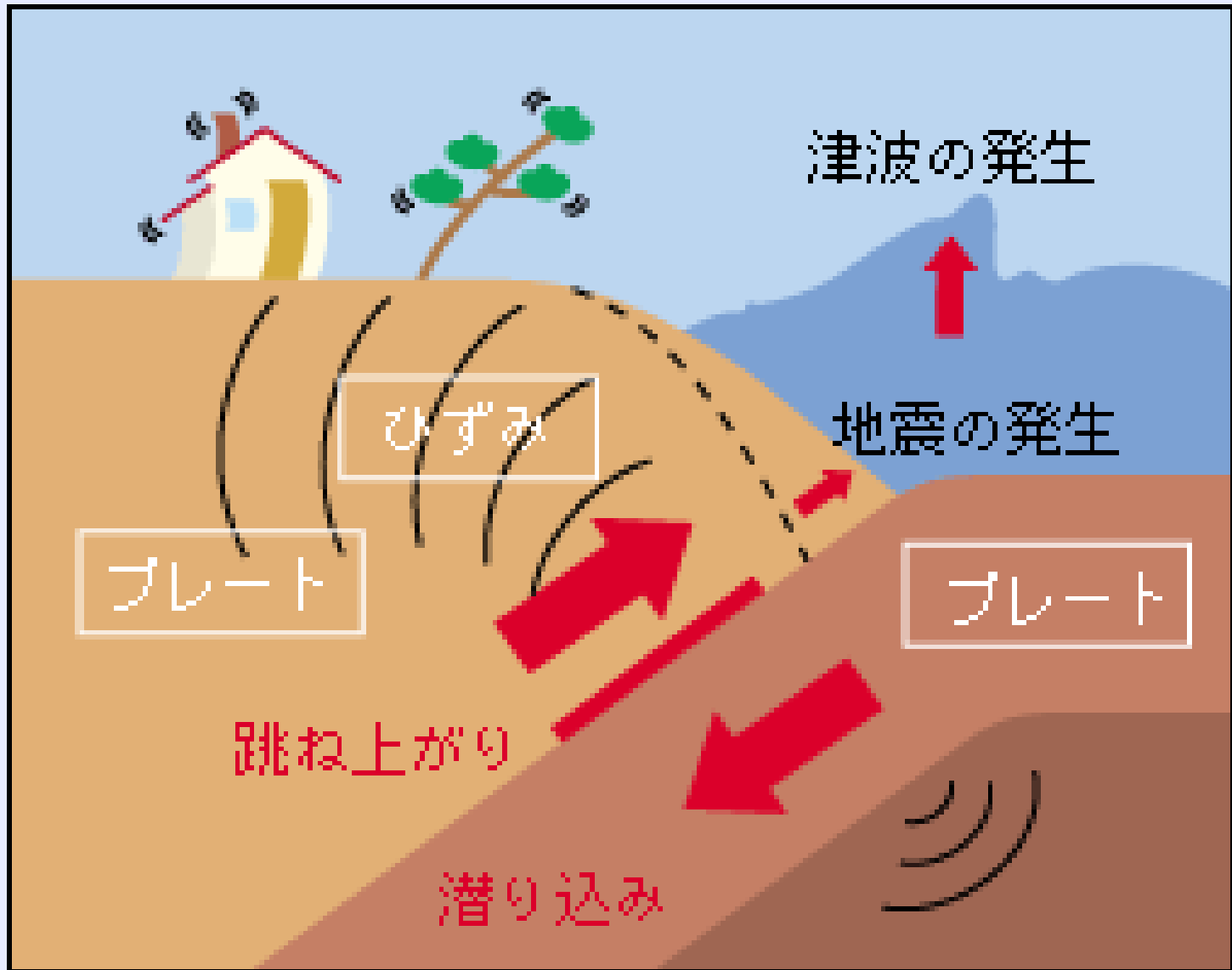
ゲリラ豪雨



日本列島を覆うプレート



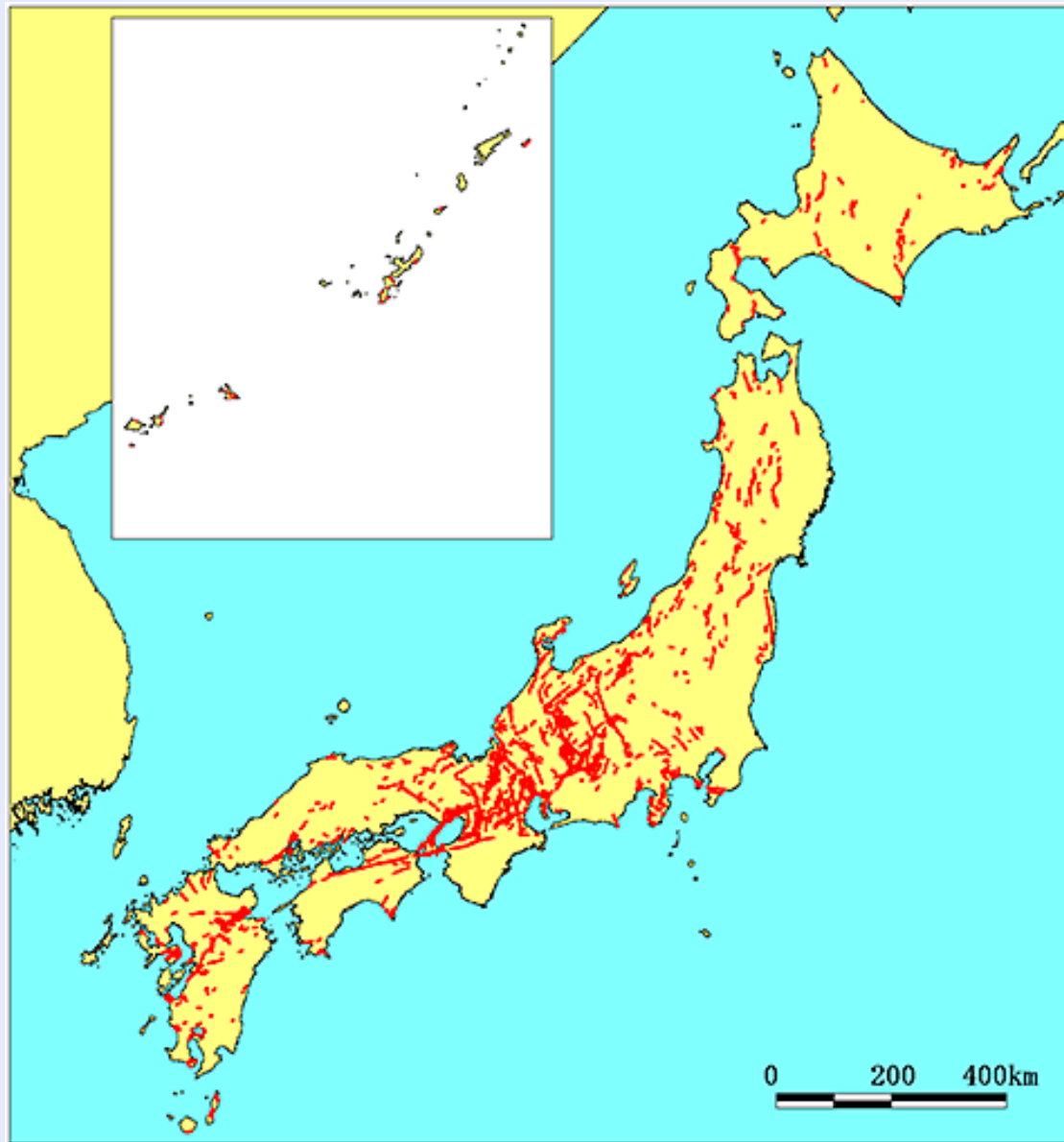
なぜ地震は発生するのか



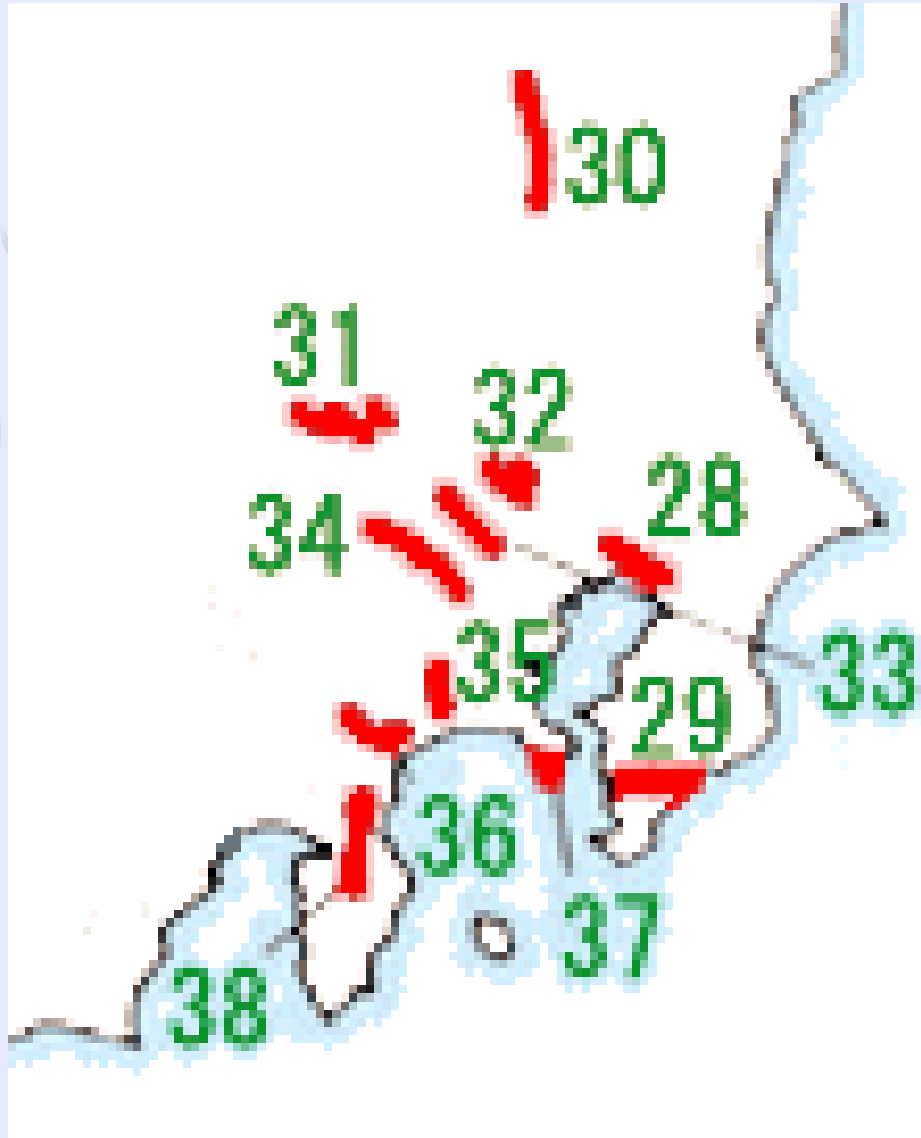
活断層



全国の活断層



関東地区の活断層



- 28 東京湾北縁断層
- 29 鴨川低地断層帯
- 30 関谷断層
- 31 関東平野北西縁断層帯
- 32 元荒川断層帯
- 33 荒川断層
- 34 立川断層
- 35 伊勢原断層
- 36 神縄・国府津-松田断層帯
- 37 三浦半島断層群
- 38 北伊豆断層帯

◆首都直下型地震(被害想定)

- 死者 9,700人
 - 自力脱出困難者 56,700人
 - 避難者 3,385千人
 - 帰宅困難者 517万人
-
- 建物倒壊 116,200棟
 - 地震火災 201,250棟

◆災害時の帰宅困難者

帰宅困難者対策条例 (東京都、2013年4月1日施行)

大規模災害発生時には
むやみに移動を開始しない



家族の帰宅が敢えて遅くなる場合があります。

◆東京都帰宅困難者対策条例

(従業者の一斉帰宅抑制)

第七条 事業者は、大規模災害の発生時において、管理する事業所その他の施設及び設備の安全性並びに周辺の状態を確認の上、従業者に対する当該施設内での待機の指示その他の必要な措置を講じることにより、従業者が一斉に帰宅することの抑制に努めなければならない。

◆帰宅支援ステーション



徒歩帰宅者に対し全都立学校、東京武道館及び上記のマークを付けているコンビニエンスストア、ガソリンスタンド、カラオケボックス、ファミリーレストラン等で水道水、トイレ、テレビやラジオからの災害情報、休息場所を提供します。

◆当団地及び周辺の想定被害

- 居住棟、事務所の損傷
- 家具や事務所・倉庫の什器などの転倒
- 他地域からの避難者流入
- 地盤損傷、液状化現象発生
- 公共交通機関の停止
- 主要幹線道路の通行止め
- 電話などの通信網停止
- 電気、ガス、上下水道の損傷、使用停止
- 店舗や企業の業務停止
- その他

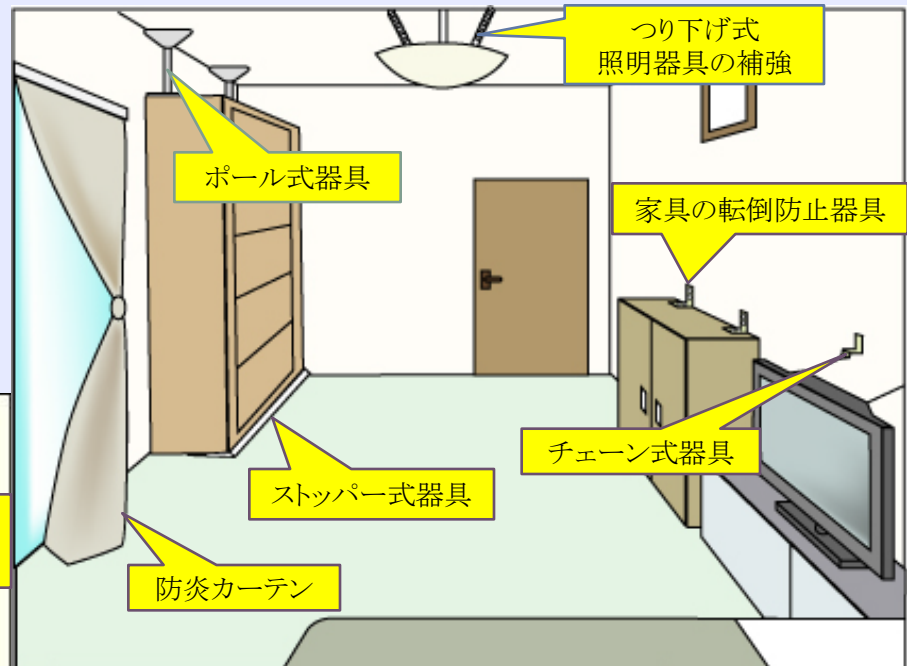
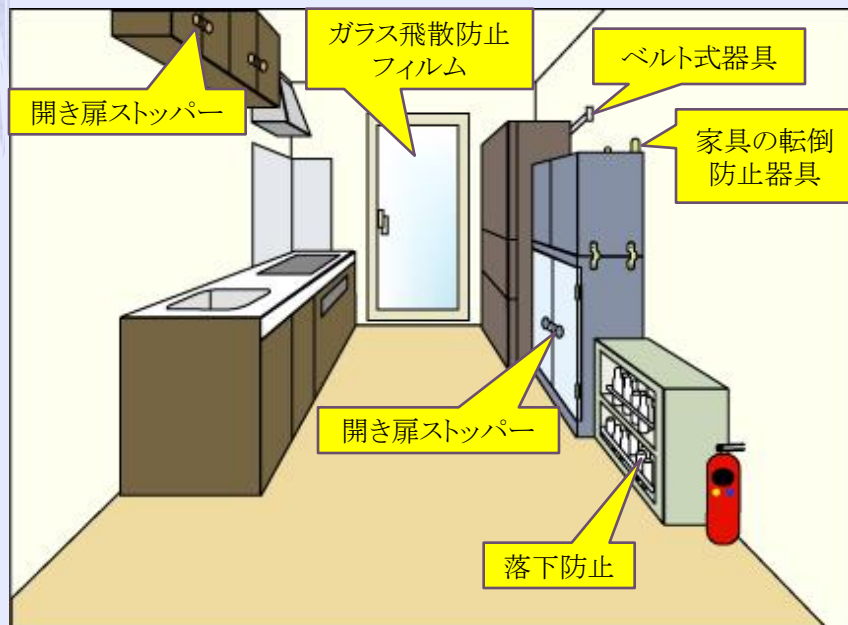
◆事前の対策

- 対策により被害を最小限出来る。
- 対策により防災用品の量が減る。
- 対策により復興、復旧が早まる。

◆防災・減災対策

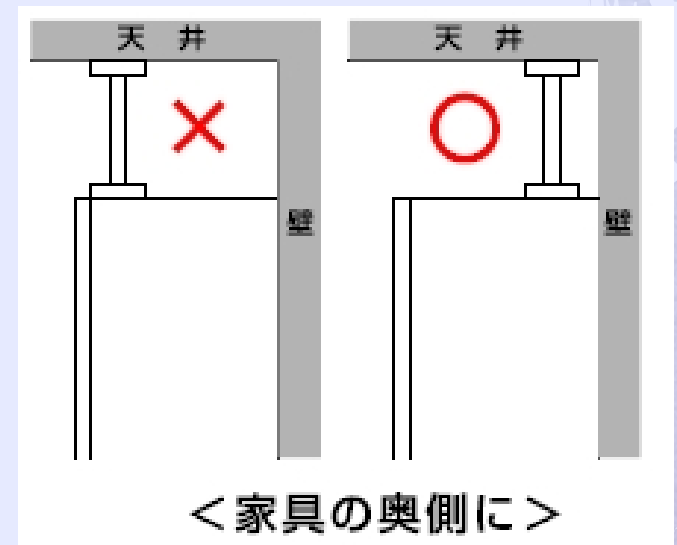
- たんす、食器棚、書棚などの転倒防止
- テレビや冷蔵庫の移動防止
- 避難場所、避難経路の確認
- 災害発生時対応マニュアルの作成
- 避難流入者の対応策を作成
- 安否確認方法の周知
- 水、食料品、毛布、トイレ用品の備蓄
- 防災用品の準備と使用方法の習得
- その他

◆転倒、開き、落下防止対策



◆各戸の防災・減災対策

たんす、食器棚、書棚などの転倒防止をする



◆転倒や落下防止器具を正しく取り付ける

(壁側)

下地材

壁

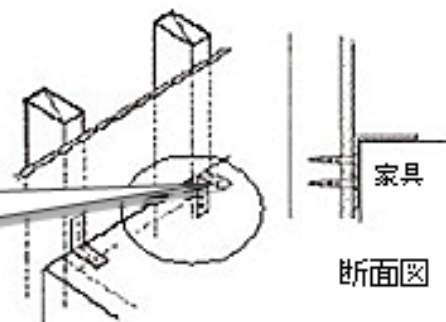
(ボコボコ)

(コンコン)

桟を見つける。

ドライバー等の太い柄で
たたく。
市販の専用プッシュピン
やセンサーもある。

L型金具を**下向き**に取り
付ける方が効果的。



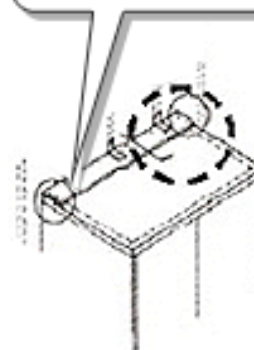
断面図

注意

S 1 壁やG L 壁といった発砲プラスチック系の断熱材が入った
防露壁は、桟がないので金具による固定はできない。

家具の天板にある桟を見つける。

しっかりした桟が入っていないものは家具の桟
から桟まで板を渡して金具を取り付ける。



壁

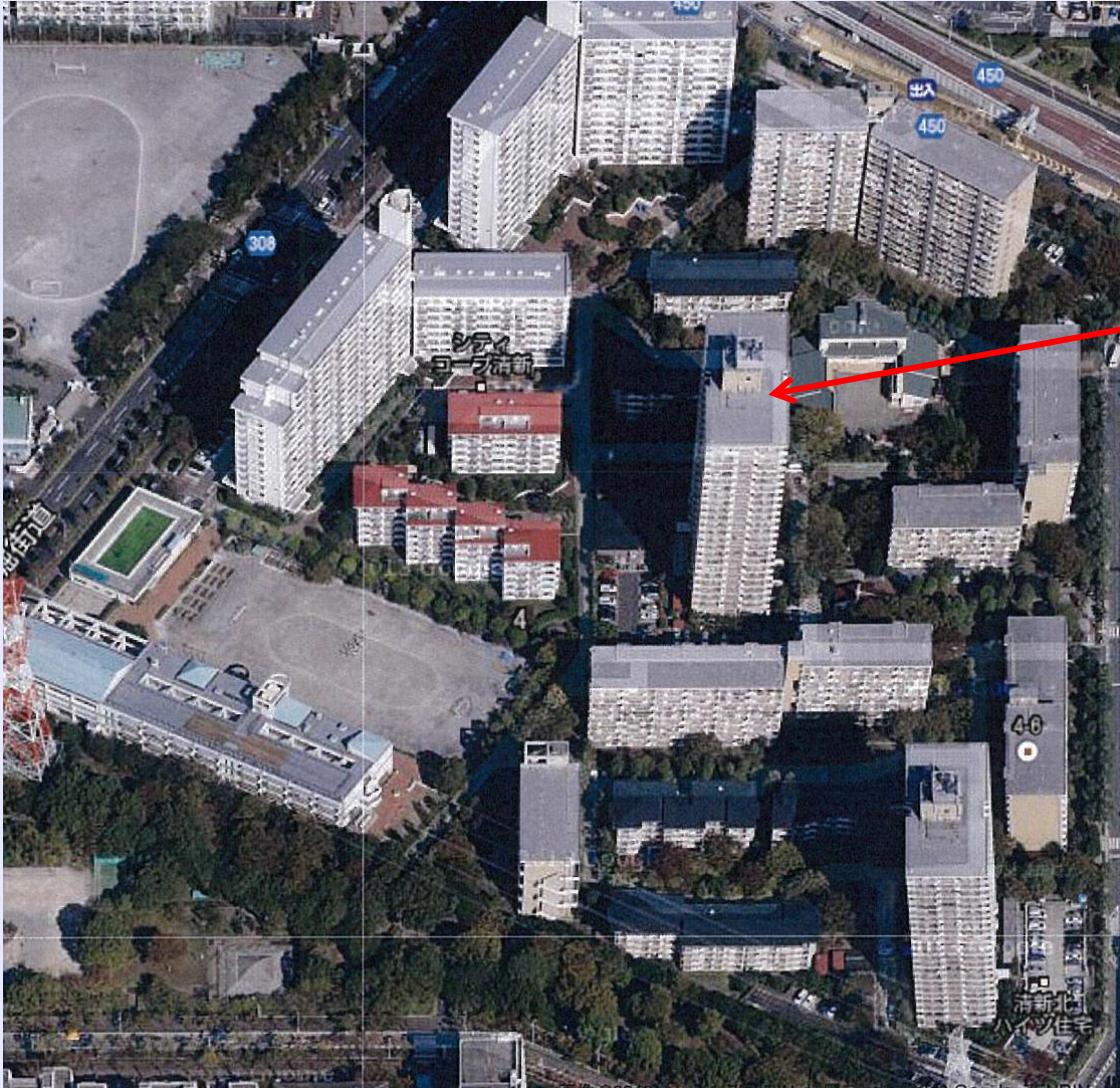
断面図

L型金具を板に固定する
板の厚さは12cm以上必要

注意

- ・なるべく堅い木に取り付ける。
- ・長めの木ネジを使用する。

◆たんすや食器棚などの家具の置き方



建物の薄い方の壁が多く揺れる。

7号棟は東西が薄く南北が厚い構造となっている。この為、南北より東西の方が揺れが大きい。倒れ易い家具は南、又は北を背にして置く。

◆大地震が発生したら

- ◆自分自身の安全を確保する。(自助)
- ◆避難口を確保する。
- ◆電源ブレーカーを切る。
- ◆電気器具のスイッチを切る。コンセントを抜く。
- ◆ガスの元栓を閉める。
- ◆安否情報を玄関扉に張る。
- ◆負傷者の救助を手助けする。(共助)
- ◆台所、洗面、トイレの排水(水洗)を使わない。
- ◆風呂桶に水を大量に溜めない。
- ◆対策本部の指示に従う。

◆救出、支援活動開始

発災後、救援活動が行われるまでには時間が掛かります。救援活動が始まるまでは自己責任で行動しなくてはなりません。

- 給水活動開始：3日目以降
- 食糧支援：7日目以降

◆防災用品の備蓄は各戸単位で準備

- 飲料水 3L×3日分／1人当り
- 非常食 1週間分／1人当り
- 非常用トイレ用品
- その他(配布の備品リスト)

◆非常用トイレ用品の重要性

- トイレが使えないと水を飲むことを控えてしまう。(特に女性)
- 水を控えると血液の水分が少なくなり血管が詰まり易くなる。
- 血管が詰まり死亡する場合がある。(エコノミー症候群)

重要: トイレは非常時でも使えるようにする。

◆非常用トイレ用品



- 使用後にビニール袋の口をしっかりと結び、大型の袋に入れてベランダで保管する
- ごみの回収が再開されたら可燃ごみとして廃棄する。

◆インフラ復旧の目安

- ◆上水道： 復旧まで30日
未復旧 1日目33.3% 2日目24.4% 4日目6.7%
- ◆下水道 復旧まで30日
未復旧 1日目2.8% 4日目2.4% 1週間目1.9%
- ◆ガ ス： 復旧まで55日
未復旧 1日目12.9% 2日目10.5% 4日目5.6%
- ◆電 気： 復旧まで6日
未復旧 1日目33.3% 2日目24.4% 3日目6.7%
- ◆電 話： 復旧まで14日
未復旧 1日目9.3% 2日目8.8% 3日目7.8%

◆お願い 北ハイツ防災会への参加

災害に備えての防災・減災対策の啓蒙活動と、災害発生時における活動員を募集しております。体力のある方、物品管理のできる方、医療経験のある方、組織運営経験のある方、防災に興味のある方、どなたでも参加頂けます。ご協力をお願い致します。

◆清新北ハイツ防災計画

◆防災用品の備蓄

- ・ テント
- ・ 担架
- ・ ブルーシート
- ・ 救急箱（50人用）
- ・ 救助用工具
- ・ ロープ
- ・ 土嚢
- ・ 発電機
- ・ トランシーバー
- ・ 投光器
- ・ 防水蛍光ランプ
- ・ ヘルメット
- ・ 懐中電灯
- ・ ポリタンク
- ・ ポリバケツ
- ・ メガホン
- ・ ガソリン携行缶
- ・ 毛布
- ・ 保存水（治療用）
- ・ 軍手
- ・ リヤカー
- ・ 一輪車
- ・ 台車
- ・ アンカー
- ・ 梯子
- ・ 携帯ラジオ
- ・ 他

◆防災会の今後の取り組み

- 防災・減災への啓蒙
- 防災ハンドブック配布
- 避難完了シール、無事ですシールの配布
- 防災訓練の実施
- 救助訓練の実施
- 防災フェアの開催
- 発災時、行動マニュアルの作成と訓練
- 防災用品取り扱い訓練の実施
- その他

防災・減災対策に対するご相談を承ります。
また、ご意見、ご協力もお願いします。

おわり